

令和6年度 第1回 尼崎市国民健康保険運営協議会 議事要旨

【次 第】

1 日 時 令和6年11月26日（火）午後1時30分から午後3時30分まで

2 場 所 尼崎市役所 市議会棟 西会議室

3 出席委員

- (1) 1号委員(被保険者代表)
高橋 和義、野嶋 厚志、寺井 利一
- (2) 2号委員(療養担当者代表)
原 秀憲、井波 眞紀子、中村 祥子
- (3) 3号委員(公益代表)
道中 隆、波田 弥生、日置 啓子
- (4) 4号委員(被用者保険代表)
宗和 恭志

4 議 題

- (1) 議 事
会長・副会長の選出について
- (2) 報 告
ア 尼崎市国民健康保険事業の概況について
イ 令和6年度尼崎市国民健康保険事業費会計の財政状況について
ウ 兵庫県下における保険料水準統一に向けた進捗状況について

【審議結果等】

会長・副会長の選出について
全会一致により公益代表・道中委員を会長に、公益代表・波田委員を副会長に決定

【質疑等】

別紙のとおり

以 上

【質疑等】

発言者	内 容	資 料
委員	【質問】 保険料が平成 30 年度に下がったが、また徐々に上がってきているのは賦課限度額が上がったからなのか。	資料 15 ページ 所得階層、 世帯別保険料
事務局	【回答】 賦課限度額が上がっていることに加えて、少子高齢化や医療の高度化の影響を受けて 1 人当たり医療費も上がってきており、これらの傾向は今後も続くのではないかと考えている。	同 上
委員	【質問】 県全体の保険料を統一すると、保険料は上がるのか。	資料 15 ページ 所得階層、 世帯別保険料
事務局	【回答】 現時点では、はっきり申し上げにくい。ただ、イメージとしては、尼崎市は被保険者の所得が少ないため所得割はやや下がり、均等割や平等割はやや上がるのではないかと考えている。	同 上
委員	【質問・意見】 保険給付費の増大の理由に少子高齢化と医療の高度化を挙げているが、被保険者の年齢構成や疾病構造について分析はされているのか。来年度から資料として示してほしい。	資料 8～ 10 ページ 保険給付
事務局	【回答】 年齢構成等について、詳しい資料は持ち合わせていない。今回は、実際に国や県が使っている「少子高齢化と医療の高度化」という言葉で説明させていただいた。少子高齢化については、若い人が国民健康保険に入ることが少なく、年齢構成として徐々に高齢者に偏っているところを捉えているが、今提示できる具体的な数字は手元にない。 疾病別の医療費については、データヘルス計画の中で分析した結果として、令和 4 年度の医療費が最も高い疾病はがんであり、次いで循環器系の疾患が高く、この 2 つの疾患で総医療費の 31.4%を占めていることがわかっている。	同 上

発言者	内 容	資 料
委員	<p>【質問】</p> <p>結核・精神医療付加金について、令和3年度から令和5年度にかけて常に微増しているが、増えてきた要因は患者数が多いのか、それとも結核の患者が重症化しているのか。</p>	資料10ページ 結核・精神医療付加金
事務局	<p>【回答】</p> <p>資料では結核と精神の医療付加金をまとめて記載しているが、内訳としては結核医療付加金が令和3年度で144件、98,551円であり、資料に記載している約24,000件、約3,200万円のほとんどが精神医療付加金に係るものとなっている。</p> <p>また、結核医療付加金の件数と金額については、令和4年度は174件、74,666円、令和5年度は148件、105,288円となっている。</p>	同 上
委員	<p>【意見】</p> <p>これから人口減少社会の中で外国人労働者の受け入れが課題となってくる。結核高蔓延国からの若い労働力も引き受けていかなければならないという現状があり、結核を重要視しなければならないと考えている。今から予防のアプローチと国保財政への影響について早期から考えていただきたい。</p>	同 上
委員	<p>【質問】</p> <p>尼崎市として、データヘルス計画において令和6年度から6年間の計画を立てておられると思うが、県内で保健事業も一定統一されるということになると、データヘルス計画との関連性が無くなるのではないかと思うが、兵庫県としてもデータヘルス計画を作っているのか。</p>	ロードマップ、 別紙2
事務局	<p>【回答】</p> <p>尼崎市としては令和11年度までの計画としてデータヘルス計画を策定しているが、兵庫県としては各市町のデータヘルス計画における健康課題等から県内共通の保健事業項目を検討することとなっており、現時点ではデータヘルス計画を策定していない。</p>	同 上

以 上